

---

## 岐阜県立岐阜商業高等学校

校 長 村上 宏俊  
学校住所 岐阜市則武新屋敷1816-6 電話 058-231-6161

---

### 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月10日(水) 10:00~11:30
- 3 開催場所 岐阜商業高等学校 校長室
- 4 参加者

会 長	川島 政樹	カワボウ株式会社 代表取締役社長
副 会 長	大友 克之	朝日大学 学長
委 員	伊藤 有沙	株式会社ミューアース 代表取締役
	早野 広子	全日制PTA特別活動委員長(書面参加)
	吉村 和也	定時制育友会副会長(書面参加)
学 校 側	村上 宏俊	校長
	下平 昌子	副校長
	清水 尚	事務部長
	水谷 貴郎	教頭
	河合 龍憲	教頭
	後藤 敦史	教務部長
	石川 勝久	商業教育推進部長
	糸井 統	生徒指導部長
	大池 須美子	進路指導部長
	高井 美保子	商業科主任
- 5 欠席者 委 員 秋山 有 早田まちづくり協議会副会長
- 6 会議の概要(協議事項)
  - (1) 学校運営の方針と重点について  
意見1: 令和7年度の報告と合わせて、新年度の方向性について理解した。  
意見2: 様々な部分で順調に成果がでていることを理解した。
  - (2) 授業見学(1年流通ビジネス科4クラス グローバルスタディプログラム)
  - (3) 教育指導の重点及び学校運営計画について  
○働き方改革について  
意見1: 本校の良さは、教育の質や部活動の質が担保されていることである。働き方改革について、教員に一律、残業時間の短縮を強いるのではなく、例えば部活指導をする教員に

対して変形労働制を導入したり、教員の仕事内容を精査して、その一部を、今後、DX化により業務の効率化が期待される事務職員に任せるなど、労働の集約化を検討してはどうか。

意見 2：一人一人の生徒を見ることこそが教育のコアな部分であるため、この時間を確保していくために、それ以外の仕事をどう切り分けしていくか。例えば、他校でも行っている共通の業務を教育委員会等で一元化、あるいは中央化することで、各高校現場に余剰の時間を創り出すような工夫が必要と考える。

○学習指導、商業推進、生徒指導、進路指導、特別活動について

意見 1：一般的に見て非常に羨ましい学校の校風、伝統、教育内容である。伝統を守りながら、今直面している様々な課題にどう取り組むか。守るべき伝統と、変えなければならないことのバランスを重視するとよい。

意見 2：商業教育に関し、伝統的に実施している販売実習等について引き続き支援したい。商業教育で日本一を目指すという考え方は引き続き大切にしてほしい。

意見 3：教育現場でも職業観においても、「個別最適化」がキーワードになる。商業教育の中でも、企業の事務員等を養成する機関ではなく、起業家を育てる意味での実業高校を目指してほしい。

意見 4：リーダーシップについて、生徒の実態や希望を踏まえ、起業家や経営者を育てていくのか、組織の中のリーダーなのかを明確にするとよい。

意見 5：部活動で好成績を残す生徒以外についても、アイデンティティの確立や自己肯定感を高められるよう、生徒が打ち込めるもの、出会える機会を創出してほしい。

(4) 学校全般について

意見 1：外部からの要望・苦情等に関し、教職員を守る意味でもはっきりと毅然とした対応をとるとよい。また、まずは事務職員や県教委等に窓口を中央化するなど、対応専門の方々に任せることができるとよい。

7 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、委員の皆様から種々の意見交換が行われたうえで、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。企業、大学、地域、PTA など様々な分野から多岐にわたる貴重なご提言やご助言をいただき、今後の学校教育を運営するにあたり大変参考となった。ぜひ今年度の学校経営に活かしていきたい。